



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
コード番号 6419 URL <http://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 2020年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,883	37.3	136	92.0	205	89.5	61	93.2
2020年3月期第2四半期	10,970	7.0	1,710	22.8	1,948	20.0	897	3.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 204百万円 (84.0%) 2020年3月期第2四半期 1,273百万円 (113.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	3.68	
2020年3月期第2四半期	53.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	56,648	51,059	90.1	3,057.45
2020年3月期	58,422	51,439	88.0	3,080.23

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 51,059百万円 2020年3月期 51,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		45.00		35.00	80.00
2021年3月期		35.00			
2021年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が不透明であり、現時点では合理的な算定が困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	22,720,000 株	2020年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,020,024 株	2020年3月期	6,020,024 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	16,699,976 株	2020年3月期2Q	16,699,976 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により国内外の経済活動が停滞し、景気は大きく悪化しました。足元では政府や自治体による各種施策の効果等で持ち直しの兆しが見受けられるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大リスクから景気低迷の長期化が懸念されております。

このような状況の中、当社グループはアミューズメント関連事業、自動認識システム関連事業、ホテル関連事業の各事業を通じてお客様の「満足」を勝ち取るために新たな付加価値の追求をまいりました。また、変化する市場環境に柔軟に対応するため、持株会社体制へ移行し、各事業会社の役割や責任を明確に定め、意思決定の迅速化や機動的な事業運営を強力に推し進めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による消費低迷で市場は冷え込み、営業活動は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高68億83百万円（前年同四半期比37.3%減）、営業利益1億36百万円（同92.0%減）、経常利益2億5百万円（同89.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益61百万円（同93.2%減）となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言時には全国の殆どのパチンコホールが営業活動を自粛しました。宣言解除後、パチンコホールは遊技客や従業員への感染予防対策を実施しつつ営業活動を再開しましたが、落ち込んだ遊技客数の回復には時間を要するものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム及び新式パーソナルPCシステム「マースユニコン」を中心にトータルシステムでの提案・販売を行ってまいりました。パーソナルPCシステムは、パチンコホールが抱える人手不足や人件費の高騰等の経営課題を改善するシステムとして広く認識され、潜在的な設備の更新需要が見込まれますが、周辺設備の更新需要が低迷する状況下において販売活動は厳しいものとなりました。当四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は10店舗、当四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,595店舗（市場シェア20.9%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は11店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,772店舗（市場シェア23.2%）となりました。

空気の流れで紙幣を搬送する業界随一のAir紙幣搬送システム及びハイスペックモデルの立体Air紙幣搬送システムは、セキュリティの強化やホール業務の省力化等の導入効果が見込まれ、市場から高く評価いただいております。既存のユーザーだけでなく他社ユーザーの獲得にもつながっており、累計導入件数は1,000店舗まで目となりました。当四半期連結累計期間においては、新規店や改装の案件が乏しかったため、販売件数は限定的となりました。

感染症リスクが伴う状況においては、接客による感染を抑制できる「セルフPOS」が注目され、積極的な販売を展開しました。また、カードの自動除菌ができる「全自動カードクリーナー」を開発し、8月より販売を開始しました。当製品はパチンコホールだけでなく、ホテルや病院等、業種を問わず、カードを取り扱う施設向けに販売を行いました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、41億29百万円（前年同四半期比39.2%減）、セグメント利益は4億74百万円（同69.9%減）となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システム関連事業における市場は、第4次産業革命（Industry 4.0）によりIoT、ビックデータ、人工知能（AI）、ロボット等が本格的に浸透し始めております。その一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で世界的に経済活動が停滞し、設備投資計画の先送りや内容の見直し等の動きも出てきております。

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを精査しながら自動的に取り込み・認識ができるため、当社グループでは特にFA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場を中心に提案販売活動を行ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資の需要が後退したことや営業活動が制限されたことから販売活動は厳しい状況となりました。また、X線検査装置も設備投資が停滞しましたが、今後期待される5G関連や、自動運転等の自動認識機器及び検査装置の販売を積極的に推し進めてまいります。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、22億57百万円(前年同四半期比26.8%減)、セグメント利益は1億65百万円(同53.4%減)となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきまして、前年は訪日外国人数が最高記録を更新し好調に推移しましたが、今年に入り新型コロナウイルス感染症が世界的に感染拡大した影響で、国内外の旅行者数は大きく落ち込み、同業界の環境は急激に悪化しました。しかしながら、政府による「Go To キャンペーン」等の各種施策の効果もあり、個人消費を中心に持ち直しの動きも出てきております。

このような状況の中、「マースガーデンホテル博多」及び「マースガーデンウッド御殿場」は、緊急事態宣言時には稼働率が大幅に低下しましたが、政府による各種施策等の効果もあり、徐々に回復してきました。

ホテルと同様に、関連事業のレストランも新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて客数は大きく落ち込みましたが、お客様や社員の安全を最優先に店内の消毒や換気、ソーシャルディスタンス、マスクの着用等の予防策を施しながら営業活動を継続し、政府による各種施策等の効果もあり、客数は戻りつつあります。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、4億96百万円(前年同四半期比54.6%減)、セグメント損失は3億62百万円(前年同四半期は73百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は566億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億74百万円減少いたしました。

流動資産は321億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億22百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が19億24百万円減少し29億5百万円となりました。

固定資産は245億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億47百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、投資有価証券が4億14百万円増加し83億73百万円となりました。

流動負債は28億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億19百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が8億58百万円減少し9億35百万円、未払法人税等が1億74百万円減少し2億14百万円となりました。

固定負債は27億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、リース債務が73百万円減少し7億48百万円となりました。

純資産は510億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億80百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、利益剰余金が5億23百万円減少し484億86百万円となりました。

自己資本比率は90.1%となり、前連結会計年度末と比較して2.1ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は222億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して82百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は8億71百万円の収入(前年同四半期は25億30百万円の収入)となりました。主な要因は、売上債権の減少額19億24百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は3億62百万円の支出(前年同四半期は31億49百万円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出2億76百万円、有形固定資産の取得による支出65百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億84百万円の支出(前年同四半期は5億92百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億84百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、当社グループの事業活動に対する新型コロナウイルス感染症の影響が不透明であり、現時点における合理的な算定が困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の発表が可能となり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,371,032	22,288,924
受取手形及び売掛金	4,829,694	2,905,433
リース債権及びリース投資資産	841,811	794,113
有価証券	349,895	349,895
商品及び製品	1,923,379	1,916,517
仕掛品	221,669	176,745
原材料及び貯蔵品	1,064,800	1,116,957
その他	2,432,627	2,563,647
貸倒引当金	△389	△307
流動資産合計	34,034,520	32,111,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,127,971	5,984,532
土地	6,692,857	6,692,857
その他(純額)	535,908	538,760
有形固定資産合計	13,356,737	13,216,150
無形固定資産	182,589	191,565
投資その他の資産		
投資有価証券	7,958,856	8,373,560
その他	2,989,236	3,018,600
貸倒引当金	△98,973	△263,799
投資その他の資産合計	10,849,120	11,128,361
固定資産合計	24,388,447	24,536,077
資産合計	58,422,967	56,648,003
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,794,479	935,729
リース債務	453,534	478,194
未払法人税等	389,668	214,978
賞与引当金	422,356	425,283
その他	1,108,561	795,408
流動負債合計	4,168,600	2,849,593
固定負債		
リース債務	821,946	748,060
役員退職慰労引当金	168,850	178,600
退職給付に係る負債	684,088	700,598
資産除去債務	51,395	51,655
その他	1,088,268	1,060,168
固定負債合計	2,814,548	2,739,082
負債合計	6,983,149	5,588,676

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	49,009,478	48,486,446
自己株式	△12,315,383	△12,315,383
株主資本合計	53,000,025	52,476,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,284,155	△1,162,949
退職給付に係る調整累計額	△276,051	△254,716
その他の包括利益累計額合計	△1,560,207	△1,417,665
純資産合計	51,439,818	51,059,327
負債純資産合計	58,422,967	56,648,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,970,053	6,883,099
売上原価	5,139,634	3,175,999
売上総利益	5,830,418	3,707,100
販売費及び一般管理費	4,120,280	3,570,967
営業利益	1,710,138	136,132
営業外収益		
受取配当金	223,073	193,099
その他	24,944	53,933
営業外収益合計	248,017	247,033
営業外費用		
為替差損	9,209	12,769
貸倒引当金繰入額	—	165,096
営業外費用合計	9,209	177,865
経常利益	1,948,946	205,299
特別損失		
投資有価証券評価損	563,653	—
役員退職慰労金	33,600	—
特別損失合計	597,253	—
税金等調整前四半期純利益	1,351,693	205,299
法人税、住民税及び事業税	486,551	132,959
法人税等調整額	△32,619	10,873
法人税等合計	453,932	143,833
四半期純利益	897,760	61,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	897,760	61,466

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	897,760	61,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360,489	121,206
退職給付に係る調整額	14,786	21,334
その他の包括利益合計	375,275	142,541
四半期包括利益	1,273,036	204,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,273,036	204,008

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,351,693	205,299
減価償却費	239,716	226,031
引当金の増減額(△は減少)	59,793	177,421
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,060	16,509
受取利息及び受取配当金	△227,524	△196,806
投資有価証券評価損益(△は益)	563,653	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,288,038	1,924,260
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	44,600	35,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△274,416	△369
営業貸付金の増減額(△は増加)	1,153,226	△45,530
仕入債務の増減額(△は減少)	△409,138	△858,750
リース債務の増減額(△は減少)	△74,734	△49,226
その他	△229,158	△271,966
小計	3,496,810	1,162,231
利息及び配当金の受取額	225,978	195,281
法人税等の支払額	△1,192,665	△485,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,530,122	871,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,463,296	△65,922
投資有価証券の取得による支出	△523,465	△276,102
その他	△162,745	△20,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,149,507	△362,724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△130	—
配当金の支払額	△592,731	△584,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△592,862	△584,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,640	△6,895
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,216,888	△82,107
現金及び現金同等物の期首残高	23,200,404	22,371,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,983,516	22,288,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	6,794,759	3,082,241	1,093,053	10,970,053	—	10,970,053
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	271,152	71,674	15,356	358,184	△358,184	—
計	7,065,911	3,153,916	1,108,409	11,328,238	△358,184	10,970,053
セグメント 利益又は損失 (△)	1,575,249	356,389	△73,985	1,857,652	△147,514	1,710,138

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額147,514千円には、セグメント間取引消去1,950千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等、△149,464千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,129,923	2,257,116	496,060	6,883,099	—	6,883,099
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	324,619	32,783	14,544	371,946	△371,946	—
計	4,454,542	2,289,899	510,604	7,255,046	△371,946	6,883,099
セグメント 利益又は損失 (△)	474,211	165,945	△362,484	277,672	△141,540	136,132

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額141,540千円には、セグメント間取引消去2,181千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等、△143,721千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。